

高校生模擬裁判選手権2021

福井県大会の御案内

日本弁護士連合会（日弁連）では、裁判員制度の実施に伴い、事実の多面的な見方や、手続的正義（適正手続）という法的価値を高校生に身につけていただくために、平成19年より、「高校生模擬裁判選手権」を開催しており、マスコミ等においても大きく報道されることとなりました。

当初は関東大会・関西大会各4校の参加校でしたが、その後、両地区での参加申込みが顕著に増加したのみならず、他地区でも大会が始まり、特に第7回からは中部北陸大会が開催されるなど、本大会は全国的な拡大と参加校数の増加を見せております。

福井弁護士会では、平成14年度より全国に先駆けて先進的な法教育への取り組みを行なってまいりましたが、高校生模擬裁判選手権におきましても、全国に先駆けて、独自に福井県大会を実施してきました。

福井県大会も、平成20年の初開催以降、参加校が増加しており、毎年多くの高校生に対し、多大な教育効果を上げています（これまでに参加経験のある県内高校は10校にのぼり、また、中部北陸大会などの上位大会に進出した学校は、うち7校にのぼります。）。

※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染の広がりによる影響を受け、日弁連による各地区大会、福井弁護士会による福井県大会のいずれも、中止を余儀なくされました。参加をご希望あるいはご検討くださった各校の皆さまには、心からお詫びを申し上げます。

令和3年は、日弁連、福井弁護士会とも、感染症対策を講じながら、大会を開催すべく、計画を行っております。つきましては、裏面の開催要領と別紙「参加要領Q&A」を御参照いただき、ぜひ福井県大会への参加を御検討いただきたく、お願い申し上げます。

令和3年2月19日

福井弁護士会

会 長 八 木 宏

同弁護士会 法教育委員会

委員長 後 藤 正 邦

「高校生模擬裁判選手権2021」福井県大会

開 催 要 領

- 開催日時 [ガイダンス（法教育授業）]
令和3年3月13日（土）
午前9時30分～午後0時30分（予定）
※感染症対策の詳細についてもこの時にご説明します
- [県大会予選]
令和3年4月11日（日）（予定）
※開催時間は、参加校数によって調整し、追って告知します
- [県大会本選]
令和3年4月29日（木）（予定）
午前9時30分～午後4時 ※その後、意見交換会
- 開催場所 [本選] 福井地方裁判所（依頼中）
※ 例年、実際の法廷を使用させていただいていますが、コロナ禍の影響もありますので、裁判所の御判断によっては変更の可能性があります。この場合は、福井市内公共施設ホールとなる見込みです。
- [ガイダンス・予選] 福井弁護士会 会議室（オンライン対応）
- 参加資格 福井県内の高等学校在籍生徒（学年を問いません）。
ただし、原則として1学校1チームとします。
1チームの構成員は「Q&A」を御参照ください。
- 参加申込期限 令和3年3月4日（木）
※参加申込み時点では、参加生徒名（チーム構成員）が全員確定している必要はありませんが、3月13日（土）の全参加生徒対象のガイダンスまでには参加メンバーの確定をお願いします。
※参加に向けて前向きに検討中だが 上記申込期限に申込みが間に合わないというような場合は、上記申込期限までに、個別に下記連絡先へご相談ください。
- 参加申込方法 学校名と担当教員名を明記のうえ、福井弁護士会あてに以下のいずれかの方法でお申し込みください。
 FAX (0776)23-9330 Eメール info@fukuben.or.jp

参加要領 Q & A

Q 何名程度の生徒数で参加すればよいのでしょうか？

A 過去の参加校の例では、4名から10名程度で1チームとなります。

役割分担は、検察官役・弁護人役とも各3名程度というのが一応の目安ですが、検察官役と弁護人役は各4～5名として、細かく役割を分担することも可能です。

大人数でチーム編成していただいても問題ありませんが、会場が密になることを防ぐ観点から、会場に入場できる生徒数を限定することを検討しておりますのでご注意ください（その他のメンバーは、事前準備などに関わることには全く問題ありません。）。

なお、裁判官役、証人役、被告人役は、いずれも福井弁護士会の会員弁護士が担当します。

Q 参加費が必要でしょうか？

A 登録費は不要ですが、ガイダンス・予選・本選とも、大会会場までの往復交通費等は参加者負担となります（引率の先生についても同様をお願いします。）。ただし、ガイダンスと予選は、各学校・会場間のオンラインでの実施を予定しています。

Q 予選会とは何でしょうか？

A 平成28年度の県大会より、予選会を実施することといたしました。平成27年度までは、例年6校の参加を得て大会を開催していましたが、参加校数の増加傾向がありますので、多数のチームに参加していただける大会運営を目指していきます。事実の多面的な見方や、論理性、表現力そして手続的正義（適正手続）という法的価値を身につけていただくという本事業の目的を、多数の学校の生徒さんたちを対象として広く達成するために、予選会では、検察官の論告と弁護人の最終弁論をプレゼンテーションしていただく方式を採用しています（本選とは異なり、証人尋問・被告人質問は行いません。）

この予選会の上位4校に、本選に臨んでいただきます。

Q 勝敗は、どのようにして決まるのでしょうか？

A 本選においては、現職の裁判官、検事、弁護士、その他法律関係者以外の審査員で構成される審査員団が、定められた採点基準に従い、各チームの証人尋問、被告人質問、検察側論告、弁護側最終弁論を採点します。

予選会における審査には、福井弁護士会の弁護士が複数名で当たります（公正を期するため、全ての参加校のプレゼンテーションを、同じ審査員構成で採点します。）。論告・弁論の審査基準は、本選と同様です。

なお、採点結果は非公開としておりますが、採点基準の概要は事前に公開します。

Q 予選会で敗退した学校は、本選には関われないのですか？

A これまで、予選会で敗退したチームの生徒さんには、本選会において高校生独自の視点から優秀生徒賞などを選定する「高校生審査員」として参加していただいています。また、観覧のために入場していただくことも可能としておりました。しかし、感染予防の見地から入場者数制限も検討しておりますので、この点に関する詳細は、予選会の際にお知らせいたします。

Q 予選会で敗退した学校には、その後のフォロー（講評など）は無いのですか？

A 予選会に参加した学校には、本選終了後、予選会の模様を撮影したDVDを配付します。また、各校に対する講評・コメントを行うほか、予選会1位校の獲得点数、4位校の獲得点数、そして当該参加校の獲得点数をお知らせします。これにより、事後的に、良かった点、評価の低かった点を生徒さんに還元することができます。また、予選上位校や予選通過校との差を把握することができます。

Q 高校生には難しいのではないのでしょうか？

A 細かな法律知識や刑事訴訟手続に関する知識、あるいは専門家のような高度な尋問技術などは求められません。本事業の目的は、①刑事裁判では、どんなことが何のために行われているのかを理解していただくこと（制度理解）と、②合理的なものの見方・考え方、わかりやすい表現能力を実践的に養っていただくことにあります。いずれについても、ガイダンスの授業を通して、かつ、支援弁護士が個別に参加生徒さん方を支援いたします。

Q 弁護士による支援は何回程度、どんな内容で行なわれるのでしょうか。

A 支援弁護士による支援は、概ね、以下のような内容を想定しています。

(1) 全体支援：

3月13日のガイダンスの際に、参加生徒さん全員を対象として、福井弁護士会員が法教育授業を行います。以下は、現段階での予定ですが、内容等につきましては変更の可能性もあります。なお、参加申込みをいただいた学校には、追ってガイダンスの詳細な案内を差しあげます。

- ・ 刑罰（匡正的正義）と裁判（手続的正義）の意義
- ・ 三角ロジックをつかった考え方・論証法

(2) 個別支援：

支援弁護士が、事前に生徒さんと日程調整のうえで、週1回程度、各学校に赴き、予選会まで計2回程度、本選進出校はさらに計3回程度の支援を行います。

(3) 刑事裁判傍聴（可能なら）

もし春休み期間中に傍聴に適する事件があれば、福井地方裁判所（あるいは福井地方裁判所武生支部、同敦賀支部）で実際の刑事裁判を傍聴していただ

きます。ただし、日程は裁判所の公判期日に合わせざるを得ず、傍聴できないことが多いのが実情ですので、ご理解ください。

Q 教員による指導は必要でしょうか？

A 各回の支援の間の「宿題」に関しましては、教員による御指導をいただくことも有益かと考えておりますが、主催者としては、教員による御指導を要請してはおりません。生徒さん方だけで自主的に御準備いただくという前提で支援計画案を策定しております。

Q 大会及びガイダンス当日はマスコミ取材があるのでしょうか？写真・映像などの撮影・利用はどのようになるのでしょうか？

A 地元マスコミの取材と報道が予想されます。また、主催者・共催者において、本大会の様態を撮影し、今後の広報や法教育活動に利用することがあります。もし、こうした写真・映像の利用について差支えがありましたら、ガイダンス実施までに主催者にお伝えください。その旨のお申し出がある場合に限り、参加生徒さんの意思に反して写真や映像を利用・報道することのないように対応いたします。

Q 支援弁護士への支援に対する謝金が必要なのでしょうか？

A 不要です。実際に弁護士と触れ合い、一緒に模擬裁判に向けた準備を行うということは、通常の学校教育の中では、なかなか実現困難なことではなからうかと存じますので、このような教育機会を、ぜひ御活用いただければと存じます。

Q 選手以外の生徒や保護者が応援に行くことは可能でしょうか。

A 例年は各学校20名程度の傍聴は可能と御案内してきました。しかし、本大会においては入場制限を行う方向で検討しており、選手以外の生徒や保護者などの観覧については認めない方向です。この点については、会場と運営方針が確定し次第、各参加校にお伝えいたします。

Q 参加申込みの際にメンバーの氏名を連絡する必要がありますか？

A 参加申込みの段階では、学校名と担当教員名（可能であれば参加生徒数の概数）を御連絡いただければ結構です。参加生徒さんの御氏名は、ガイダンス当日に配布する名簿に御記入いただきます。なお、参加申込みを頂戴した学校へは、別途、ガイダンスの詳細な御案内を申し上げます。

Q 日本弁護士連合会主催の上位大会への参加はどうなりますか？

A 優勝校につきましては、令和3年度に限っては、オンライン方式で行われる日弁連主催大会への参加権を与える方向で調整しています。準優勝以下の参加が可能か否かについては、追ってご連絡します。

